

# 市道 0104 号無電柱化事業計画説明会

## 議 事 録

期 日：令和 5 年 9 月 2 日（土）

時 間：午前 10 時 30 分～11 時 30 分

会 場：行徳公民館 3 階レクリエーションホール

主 催：市川市道路交通部道路建設課

出席者：8 名

### 1 挨拶（課長）

省略

### 2 計画等説明

#### 【説明会主旨】

本日の説明会は、市道 0104 号の無電柱化の事業化にあたり、事業の概要と今後の予定について説明させて頂き皆様からご意見を伺い計画に反映してく為に開催させて頂いております。

#### 【事業内容】

本事業は、市道 0104 号の一部区間、浦安市川バイパスから新浜通りまでの約 830mの区間について、両側の道路で無電柱化の整備をし、併せて自転車が安全に走行できる空間の整備を検討しております。

#### 【無電柱化の目的】

無電柱化事業の目的として、電柱倒壊を防ぐ防災面、安全な歩行空間を確保する交通安全面、良好な景観形成の3つがございます。市川市では令和4年8月に「市川市無電柱化推進計画」を策定し、市道 0104 号等を優先整備路線に選定しております。また、無電柱化することでムクドリ対策にもつながると考えております。

#### 【無電柱化の整備手法】

本事業では、電線共同溝方式という整備手法を検討しております。これは道路の地下空間を活用して、電力線、通信線等をまとめて収容する手法で、この整備にあたり、歩道上に地上機器という鉄製の箱状の設備を設置する必要があります。この地上機器の設置間隔については、沿道の電力需要などによって変わります。

#### 【自転車走行空間の整備】

近年、自転車の利用ニーズが高まっていることから、安全で快適な自転車利用環境の充実を

目的として、平成 27 年に「市川市自転車走行空間ネットワーク整備計画」を策定しております。

市の整備計画において、市道 0104 号は自転車走行空間の整備路線と位置づけており、整備を検討しております。

自転車走行空間の整備形態として、自転車通行箇所が縁石等で構造的に分離された「自転車道」、自転車が走る箇所を視覚的に示した「自転車レーン」、自転車レーンを設置する幅員に満たない道路で自転車が走る箇所を矢羽根やピクトグラムで示した「車道混在」の 3 つがございます。

### 【地上機器の設置位置】

地上機器の位置は、東京電力、NTT 等の電線管理者と必要な位置を確認し、決定しております。地上機器は必ず必要なものになるので、設置のご理解お願い致します。

### 【移設工事】

地上機器が歩道に建ちあげられるように、電線共同溝を歩道寄りに設置する必要がありますが、歩道には大きな水路、その脇に水道管、ガス管、下水管が埋設されているため、事前に移設工事を行う必要があります。

### 【自転車走行空間】

バスベイを設置すると、自転車道を設置する幅が確保できない為、市道 0104 号は自転車レーンの整備を計画しております。なお、現在設置されているパーキングチケットについては、道路の幅員を確保するため撤去も検討しております。

### 【バス停の改良】

将来的に(仮称)押切・湊橋が開通しましたら、市道 0104 号の交通量が増えることが予想されるため、バスベイ等を設置し、バス停車時に、後続車の障害にならないよう検討しております。

### 【ベンチ設置について】

現在、行徳駅前広場にベンチが設置されている為、南側にあるバス停の新浜小学校付近に、設置を検討しております。

### 【今後の事業予定】

現在予備設計を始めており、令和 6 年度から詳細設計をし、設計後に工事説明会を実施した上で移設工事、電線共同溝工事、電柱撤去をし、これらの無電柱化に関わる全ての作業完了後、舗装復旧、自転車レーンの整備をして令和 15 年度末に事業完了予定としております。業務ごとに掛かる期間が長いこと、既設埋設物の影響でスケジュールが大きく変わる可能性があります。

### 3 質疑応答

ご質問内容	市の回答内容
車道を狭くする計画となっているが、(仮称)押切・湊橋ができれば交通量が増えて渋滞が予想されるので、これを加味したうえで設計してもらいたい。	今回設計で、現在の交通量を測定し、(仮称)押切・湊橋開通後の交通量も含めて警察と協議し設計を進めていきます。
今後の計画について、市民の意見を取り入れられるように、周知方法を考えて理解を得ながら進めて頂きたい。	ご意見として承ります。
(仮称)押切・湊橋の整備に、バイパスから橋までの無電柱化を計画に入れることは出来ないのか。	千葉県に確認したところ、千葉県の無電柱化計画には含まれていないとの回答でした。一般的に橋の上に電柱は建ちませんが、側道の脇に建ってしまうと思われます。
既存の水路に対する整備はどのように考えているのか。この水路は農業用水なので廃止できないと言われたが、農業用水の水路という理解をしているのか。	水路について、昔は農業用水路として使用していたが、現状は雨水を流すのに使っています。整備については、このままになるか移設するか計画を建てている最中ですが、水路が残るとしても、歩道上の蓋の段差や勾配の改修を検討し歩きやすくなるよう考えていきます。
自転車レーンの整備が約10年後となっているが、先行して整備することは検討しないのか。自転車レーンはペイントだけで、対応できるのではないかと思うので検討頂きたい。	電線共同溝の地上機器を設置するために、歩道側に寄せて整備する必要があり、併せて、ガス管、水道管の移設も考慮すると何度も掘削してしまうため、電線共同溝の整備が終わった後に整備する計画としています。先行整備については、ご意見として承ります。

#### 4 意見用紙回答

意見用紙内容	市の回答内容
長く駐停車する車両がいるが、車道幅 3.0m では、駐停車車両があった場合、通行に支障があるのではないか。また、(仮称)押切・湊橋が出来ると車道幅 5.0m は必要ではないか。	駐車禁止の路線となりますので、駐車車両の取り締まりを警察にお伝えします。なお、車道幅員につきましては道路構造令に則って設計し、今後の警察との協議で決定していきます。
交差点で右折車線は必要と考える。	今後警察との協議により判断していきます。
バスベイ部分は市が民有地を幅 1.0m 程度買収したらいいのではないか。	バス停にバスが停車時に、後続車の障害にならないよう、現況の道路幅員でバスベイ設置を検討しており、現在のところ用地取得は検討しておりません。
行徳駅前通りでは、行徳駅から 200～300m の範囲で不法駐輪が常態化しており、自転車専用通行帯、歩道の通行の妨げになると思うが、対策が必要ではないか。	ご意見のありました範囲のバイパスから市道 0107 号までは、自転車等放置禁止区域として、交通計画課により放置自転車の対応を行っておりますので、今回、ご意見があったことをお伝えします。
降雪時の雪寄せ場はどう考えているか。	市川市の積雪の頻度から、雪寄せ場は検討しておりません。
歩道脇にあるゴミ置き場等はどう対応するのか。	歩行者の通行の妨げにならないよう、現在と同じ場所に配置できるよう検討しております。
街路樹・植込みは撤去するのか。	植樹帯は設置を検討しておりますが、地上機器、バスベイ、右折車線設置等で歩道の有効幅員が確保できない箇所は設置いたしません。なお、工事で支障となる場合は一時的に撤去し、復旧を検討しております。